

第2 形 容 詞

	告 示 (昭34) [現行]	朝 日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公 用 文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
形 容 詞 一 般	7 形容詞は、 活用語尾を 送る。語幹が 「し」で終わる ものは、「し」 から送る。		(告示に同じ。)	第2 1 形容詞は、 活用語尾を 送る。 2 語幹が 「し」で終る 形容詞は、 「し」から送 る。	第2 1 形容詞は 活用語尾を 送る。 [注意]「荒い」 「古い」は動詞 との関連が考 えられるが、 それぞれ「ら」 「る」を送らな い。 2 語幹が「し」 で終る形容詞 は「し」から送 る。 [注意]「恋しい」 は動詞との関 連が考えられ るが、「い」を 送らない。	第2 1 形容詞 は、活用 語尾を送 る。 2 語幹が 「し」で終 る形容詞 は「し」か ら送る。	第1側 漢字ヲ 以テ活用語 (動詞、形容 詞、助動詞) ヲ書キアラハ ストキハ、語 尾ノ活用スル 部分ヲ送仮名 トナスベシ。 (1) 普通ノ活用 形 (2) 活用形ノ音 便ニヨリテ他 ノ音ニ転ジタ ルモノ。
	暑 い				○		

	告示 (昭34) [現行]	朝日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公用文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
形 容 詞	白い		○	○		○	
	高い		○				
	若い	○					
	新しい	○	○	○	○	○	○
	美しい	○			○	○	
	苦しい	○			○	○	○
	珍しい	○	○	○	○	○	○
他の例語 →				強い, 著しい, 正しい	青い, 浅い, 荒 い, 幼い, 細い 古い, 怪しい, 著しい, 麗しい 恋しい	強い, 無い, 悲しい	
一般	ただし, 次の 語は, 活用語尾 の前の音節から 送る。		ただし, 次の 語に限って, 活 用語尾の前の音 節から送る。	第2 3 活用語尾 を送るだけ では, 誤読・ 難読のおそ れのある形 容詞は, そ	第2 3 活用語尾 を送るだけ では, 読み 誤られるお それのある 次のような	第2 3 活用語 を送るだ けでは, 誤読・難 読のおそ れのある 形容詞は,	

	告示 (昭34) [現行]	朝日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公用文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
				の前の音節 から送る。	形容詞は、 その前の音 節から送る。	その前の 音節から 送る。	
形 容 容	明るい(「明い」 では難読。「あか い」と誤読。「明 ける」と関連さ せて通則9をあ てはめると「明 かるい」となる。)	○	○	○	明かるい	明[か]るい	○
詞	危うい(「危い」 では「あぶない」 と誤読。)	○	○	危い	○	/	危ッ
一 般	大きい(「大い」 では難読。「おお い」と誤読。慣用 もあった。)	/	○	○	○	○	/
	少ない(「少い」 では難読。「少く ない」のとき「す くなくない」と 誤読。)	○	○	少い	○	少い	少ッ

	告示 (昭34) [現行]	朝日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公用文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
形容詞 一般	小さい (「小い」 では難読。慣用 があった。)	○	○	○	○	○	小 シ
	冷たい (「冷い」 では難読。「ひ やい」と誤読。)	○	○	○	○	○	冷 シ
	平たい (「平い」 では難読。慣用 があった。)	○	○	○	○	○	○
	他の例語 →						
他の形容詞 と関係のある 形容詞	8 活用しない 部分に他の形 容詞の語幹を 含む形容詞 は、含まれて いる形容詞の 送りがなに よって送る。		(告示に同じ。)		第2 4 他の形容 詞または他 の品詞と関 係のある形 容詞は、そ れぞれ他の 形容詞また は他の品詞 の送りがな		

	告 示 (昭34) [現行]	朝 日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公 用 文 (昭22)	中 等 国 語 (昭23)	案 (昭21)	送 仮 名 法 (明40)
他の形容詞と関係のある形容詞					の基準に従ってつける。 (他の形容詞と関係のあるもの)		
	重たい	○	○	/	○	/	/
	憎らしい	○	/	/	○	/	○
	古めかしい	○	/	○	○	/	/
	他の語例→						
動詞と関係のある形容詞	9 活用しない部分に動詞の活用形またはそれに準ずるものを含む形容詞は、その動詞の送りがないによって送る。		(告示に同じ。)	第2 4 動詞と関係のある形容詞は、その動詞の送りがなを基準としてつける。	第2 4 他の形容詞または他の品詞と関係のある形容詞は、それぞれ他の形容詞または他の品詞の送りがなの基準に従ってつける。 (動詞の活用	第2 4 活用しない部分に、動詞の活用形をふくむ形容詞は、そのふくまれてゐるものの語尾から送る。 [注意] 右において誤読	第2則 活用語ノ活用セザル部分ニ、他ノ語ノ活用形ヲ含ムモノハ、送仮名トシテ之ヲ書キアラハスベシ。 (3) 形容詞ノ中ニ動詞ノ活用ヲ含ムモノ。

	告 示 (昭34) [現行]	朝 日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公 用 文 (昭22)	中 等 国 語 (昭23)	案 (昭21)	送 仮 名 法 (明40)
動詞と関係のある形容詞					形または活用形に準ずるものを含むもの。	難読のおそれのないものは、そのふくまれてゐるものの語尾を送らない。 5 活用しない部分に、動詞の活用形に準ずるもの(語尾の音が変化してゐるもの)をふくむ形容詞は、そのふくまれてゐるものの語尾から送る。	

	告 示 (昭34) [現行]	朝 日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公 用 文 (昭22)	中 等 国 語 (昭23)	案 (昭21)	送 仮 名 法 (明40)
動詞と関係のある形容詞	勇ましい	○	○	○	○	○	○
	輝かしい	○		○	○	○	○
	頼もしい	○	○	○	○	○	頼 シ
	喜ばしい	○		○	○	○	○
	恐ろしい	○	○	○	○	○	恐 シ
	他の例語 →			望ましい, 願わしい	明かるい, 嘆かわしい, 望ましい, 恥ずかしい, 紛らわしい, 煩わしい	騒がしい	
形容動詞(副詞)と関係のある形容詞	10 活用しない部分に形容動詞の語幹を含む形容詞は, その形容動詞の送りがなによって送る。		(告示に同じ。)		第2 4 他の形容詞または他の品詞と関係のある形容詞は, それぞれ他の形容詞または他の品詞の送りがな	第2 6 副詞をふくむ形容詞は, 副詞としての送りがなから送る。	第5則 副詞ヨリ転ジテ活用語ニ用キラレタルモノハ, 活用以外尚, 副詞の送仮名ヲ附スベシ。

	告 示 (昭34) [現行]	朝 日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公 用 文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
形容動詞(副詞)と関係のある形容詞					の基準に従ってつける。 (形容動詞と関係のあるもの。)		
	暖かい	○	○	○	○	○	○
	細かい	○	○	○	○	○	細[カ]イ
	柔らかい	○	○	柔らかい	○	柔[ら]かい	柔カ
	愚かしい	○	○		○		
	他の例語 →					甚だしい	未ダシ, 甚ダシ
名詞と関係のある形容詞					第2 4 他の形容詞または他の品詞と関係のある形容詞は、それぞれ他の形容詞または他の品詞の送りがな	第2 7 活用しない部分に、名詞、形容詞の語幹をふくむ形容詞は、そのふくまれてゐる	

	告示 (昭34) [現行]	朝日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公用文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
名詞 との関係 のある 形容詞					の基準に従 ってつける。 油っこい、 平たい(名 詞と関係の あるもの)	もの以外 の部分 かな書き とする。 際どい、 平たい	
複 合 形 容 詞	11 動詞と形容 詞とが結びつ いた形容詞は、 その動詞と形 容詞との送り がなによって 送る。	(複合語は、上 の語の送りがな を省くことが多 い。)	(告示に同じ。)	第2 5 動詞と形 容詞と複合 したものは、 その動詞に も形容詞に も送りがな をつける。	第2 5 複合形容 詞は、以上 の基準およ び他の品詞 の送りがな の基準に 従ってつけ る。	第2 8 動詞と 形容詞と 複合した ものは、 その動詞 にも、形 容詞にも 送りがな。 をつける	第6則 漢字ノ 2字以上ヲ以 テ複合活用語 ニ訓ジタル場 合ニハ、ソレ ゾレノ送仮名 ヲ附スベシ。
	聞き苦しい	聞苦しい	○	○	○	○	
	待ち遠しい	待遠しい	○		○		(待合ハス)
	他の例語 →						